

<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>水産業や海洋関連産業を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する学校 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の水産業を支える人材となりうる心豊かで、力強い生き方、未来を見据える力</li> <li>・確かな学力、高度な専門分野の知識・技術</li> <li>・自尊感情、向上心、旺盛なチャレンジ精神</li> <li>・職業人に求められる倫理観</li> <li>・水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度</li> <li>・海洋環境の特徴や環境保全の必要性の理解</li> </ul>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の流れに即した職業人の育成</li> <li>・地域と連携した専門的な授業</li> <li>・水産・海洋関連産業のスペシャリストになるために必要な専門知識の修得や実務体験ができる教育活動を展開し、新たな価値を生み出す柔軟な発想力をもった人材の育成</li> <li>・福津市と連携したSDGsへの取り組みを推進する教育内容</li> </ul>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産・海洋の専門的分野に興味関心が高い人</li> <li>・専門知識や技術を習得したいと考え、その進路を目指す人</li> <li>・より多くの資格取得に興味がある人</li> <li>・海、船及び魚が好きで実践的、体験的な学習活動に興味をもち、進んで学習する人</li> <li>・自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる人</li> </ul>

学校運営計画(4月)

学校運営方針	生徒に国家・社会の有意義な形成者となるための「知・徳・体」調和のとれた教育を施し、確かな学力を育成し、他者との関わりの中で自己の在り方・生き方や使命感を自覚させ、心豊かで力強い生き方ができる人間の育成に努める。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>(成果) 県内唯一の水産高校として、コロナ禍の制限が解除され、地域交流・イベントなどに積極的に参加し、本校の魅力をアピールした。本校の特色を象徴する水高祭では制限を解除して地域および一般に広く広報を行い開催することができた。好評につき来場者数もコロナ禍以前に戻った。基礎学力定着のための「朝学習」を継続的に実施することで、100%の希望進路実現を達成することができた。九州地区の生徒研究発表大会では、最優秀賞を受賞し全国大会に於いても素晴らしい発表を行った。 (課題) 学校行事、地域交流など、本校の特色ある教育活動を継続的に本校の魅力をPRする必要がある中、並行して教職員の働き方改革の推進を行う。「いじめ見逃し0」を合い言葉に学校生活アンケートの実施や、いじめのサインを見逃さない教育活動を引き続き展開する。生徒の心の安定をはかり教育力向上を目指す。また、生徒一人一人が安心・安全で「居場所」のある学校生活ができる学校づくりを推進する。『海にまなび 食にまなぶ 水高』及び『海を拓き 世界を興せ』のスローガンのもと、生徒一人一人が輝く人材を育成する。</p>	<p>基礎・基本的な知識や技術の確実な習得と主体的、対話的で深い学びを実現し、水産教育を通して、水産や海洋産業、地域社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する。(学習指導)</p> <p>社会性、倫理観、コミュニケーション能力、他者との関わりの中で生きていくことの自覚等を育成する。(生徒指導・道徳教育)</p> <p>水産業を魅力とやりがいのある産業として認識させ、高度な技術の学びの場や国際交流等を通してキャリア教育を推進する。(進路指導)</p> <p>基礎体力や物事をやり抜く忍耐力や責任感を育成する。(健康教育)</p>	<p>○日々15分の「朝学習」をもとに、予習・復習、家庭学習の習慣化を図り、生徒の実態に即した授業展開、定期考査問題作成、放課後課外等を行い、学力向上を目指し確かな学力を育む。 ○資格課外の充実を図り、専門分野の知識・技術を生かした資格取得をめざすなど、生徒の希望進路実現・自己実現を支援する。 ○生徒がチャレンジする機会を多く設け、目標に向かって取り組んだ過程や結果を認める(ほめる)ことで真の達成感を味わわせ、さらなるチャレンジ意欲を向上させる「銀ほめ福岡メソッド」を実行する。</p> <p>○本校で「何をしたいのか」、「何をすべきなのか」、「何を目指すべきなのか」を問いかけ、生徒との信頼関係のもと、毎時間の授業を充実させた教科指導とともに、より良い人間関係づくりにつながる生徒指導を展開し、『日本一の水産高校』を目指す。 ○いじめ防止基本方針のもと、いじめの撲滅や差別を見逃さない組織づくり、校内並びに実習船「海友丸」の危機管理等、『生徒一人ひとり』『安心』『安全』で、「居場所」ある学校づくりを推進する。 ○本校の強みを生かし弱みを改善するために、各教科間の連携的な取組に加え、教員、生徒、保護者、地域などが、『チーム水高』として目的を強く共有し、常に目の前の生徒に寄りそった、スピード感ある教育活動により、ワンランク上の目標達成を目指す。</p> <p>○新しい時代に求められる資質・能力を育むために「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、ICTを活用した基礎学力定着に向けた教育ならびに臨場感あふれる水産教育を推進し、「主体的・対話的で深い学び」のために不断の授業改善を行う。 ○水産・海洋関係、地域連携の諸行事に多くの生徒を参加させ、わくわく活き活きするような活躍の場を与え、学校を牽引するリーダーを育成するとともに、その活動の様子や成果を本校ホームページ上に定期的に更新するなど、積極的に広報する。</p> <p>○「体力向上プラン」により、基礎体力を向上させ、学校と家庭、地域社会が連携・協力し、生徒の心身の鍛錬に努める。 ○健康・安全に関する意識を高めさせるとともに、心身の調和的発達を図る。</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部 教務課	基礎・基本的な知識や技術の確実な習得	チャイムtoチャイムを徹底し、規律ある授業を行う。 生徒の実態に即した授業展開、定期考査問題を作成し、学力向上を目指す。 指導と評価の一体的な改善を行い、生徒の学ぶ意欲を育む。	●1年生アンケート ●学校生活アンケート ●家庭生活アンケート	
	主体的、対話的で深い学びの実現	アクティブラーニングなどを活用した生徒のわかる授業を展開できるように授業改善を行う。 ICTの積極的な活用と指導方法・指導体制の工夫改善を通じた新たな学びを推進する。 研修図書課と連携し授業改善のための研修を実施する。	●学校生活アンケート ●家庭生活アンケート ●相互参観授業参観票	
教務部 企画広報課	学校の魅力をPR	各学科の魅力が伝わる、学校紹介パンフレットを作成する。 学校の様子が伝わるホームページやインスタグラムの投稿。 魅力ある中学生体験入学の実施。	●1年生アンケート	
	PTA活動の活性化	生徒の見守り活動の一環として、職員とともに交通安全指導を実施する。 PTA役員会の定期開催と行事への参加を促す。 PTA新聞の作成を計画的に行い、年間2回の発行を行う。		
生徒指導部 生徒指導課	基本的な生活習慣の確立	服装、髪型等の身だしなみ検査を月1回実施し、身だしなみ意識の向上を図る。 学校行事等において時間を厳守する習慣を作り、学校生活全般において気持ちの良い挨拶を励行する。 社会人として、自転車乗車マナー、バス乗車マナー等の規範意識の向上を図る。	●学校生活アンケート ●家庭生活アンケート	
	いじめを許さない学校づくり	月1回のアンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応を組織的に行う。 生徒指導において複数の教員で対応し、事前事後の情報共有を組織的に行う。 集会や行事において生徒を称賛する場を積極的に設定する。	●いじめアンケート ●学校生活アンケート ●家庭生活アンケート	
生徒指導課 保健環境課	情報発信と環境衛生保全のための確認・報告	生徒保健委員会を指導し、「保健だより」の発行を行う。 環境衛生検査(水質・照度検査)を実施し、環境保全に努める。 保健委員会を指導し、年3回安全点検を実施し、教育環境を整える。		
	心身の健康保持増進	うがい・手洗い・換気等基本的な感染症対策を推進する。 心身の健康を把握し、生徒指導・教務・SCと協力し学校生活を支える。 魂の清掃(大掃除)を設定するとともに、美化委員会活動を通じ美化意識の向上を図る。	●緊急連絡および健康調査票 ●運動器検診問診票 ●食物アレルギー調査票 ●学校心臓調査票 ●海洋実習における事前健康調査	
進路指導部 進路指導課	進路実現満足度100%の達成	進路支援コーディネーターと連携し、企業訪問等を実施し、求人開拓を積極的に行う。 進学希望者への確実な情報提供と、個別指導の実施。 生徒・家庭によりそう進路指導の実施。	●学校生活アンケート	
	キャリア教育の充実	10年後の自分の姿を考えさせる講話やガイダンスの実施。 社会情勢に則した職業観の涵養。 費用対効果を考慮した資格取得情報の精選と提示。	●進路ガイダンス後アンケート	
進路指導部 研修図書課	校内研修の充実	研究授業の活性化、相互参観授業週間の設定など、授業改善に資する。 キャリアアップ講座等、教育センター研修への参加を奨励する。 時代の変化に相応した効果的な研修を実施する。	●研究授業参観票、相互参観授業参観票	
	図書館利用の促進	図書館資料・蔵書の充実を図る。 図書委員会活動の活性化を図る。 夏季休暇中の図書委員会合同研修会への参加を奨励する。	●学校満足度アンケート	
第1学年	基礎力、忍耐力の育成	基本的な生活習慣の確立と問題行動の防止に努める。 欠席、遅刻、早退の防止に努める。3年間で10日以内とする。 規範意識を身につけさせ、問題行動の防止に努める。	●学校生活アンケート	
	3年後の進路実現	授業規律の確立と成績不振者の指導徹底を図る。 授業前に教室の環境整備及び服装点検を行う。 生徒指導課、教務課と連携し、指導の徹底を図る。	●学校満足度アンケート	

様式3

第2学年	進路先決定に向けた支援	進路先の情報提供を積極的に行い、選択肢を広げる。 進路が未確定の生徒に対し、相談し、進路先を決める。 企業見学や外部連携を積極的に行い、様々な仕事を見せる。	●学校生活アンケート	
	凡事徹底	挨拶を徹底させる。 礼儀・作法の指導を徹底する。 時間を守ることを徹底させる。	●家庭生活アンケート	
第3学年	進路決定	進路先の紹介を進路指導部と連携し、積極的にを行う。 生徒の適正を見極め、進路先を紹介する。 進路実現に向けた指導を行う。	●進路先一覧	
	社会で通用する人間の育成	基本的な生活習慣が身についた生徒を育成する。 コミュニケーション能力を高める指導を行う。 ルールを守ることができる生徒を育成する。	●学校生活アンケート	
海洋科 航海コース	将来の船員として必要な力を向上させる	海技士国家試験(筆記)合格者を複数出す。 乗船前指導、乗船後の指導を継続して行うことにより乗船実習を実りあるものとする。 海友丸、2県との連携を密にし、乗船教育の充実をはかる。	●乗船実習アンケート	
	3年間を見通し、計画的に希望進路を実現させる	船員としての適性を考慮した効果的なコース選択の道筋をつける。 船員への就職率70%以上をめざす。 専門教科を通じて船員として必要な知識・技術及び態度を身に付ける。	●進路先一覧	
海洋科 機関コース	安全教育の徹底、社会貢献できる人材の育成	実習時の服装、保護具の着用、整理整頓の徹底。 インターンシップ実施、受入企業開拓、就職先開拓に繋げる。 進路実現のための資格取得、専門分野への就職者の増加を目指す。	●学校満足度アンケート	
	水産・海洋技術関連産業に興味・関心を持つ生徒の育成	企業見学等を行い、最新の技術これからの産業の変化に「興味を持たせる。 船舶機関の今後の変革についても企業と連携し、ガイダンスを取り入れる。 自分の仕事に誇りを持つ忍耐力のある人材育成。	●学校満足度アンケート ●進路ガイダンス後アンケート	
海洋科 マリン技術 コース	潜水で事故を起こさないための知識・技術・体力を身に付けさせる。	基本である水泳を徹底的に行い、水中で事故を起こさない人材を育てる。 様々な事故を想定した訓練を行い、セルフレスキュー能力を身に付ける。 実習に臨む態度とバディとの信頼関係を育て、事故を未然に防止する。	●授業満足度アンケート	
	海を守る意識の育成	ブルーカーボンや磯焼け防止への取り組みから環境を保全する意識を育成する。 地域での海を守る取り組みへ参加し、海とともに生きる意識を育成する。 潜水と自然破壊の関係性について教え、どうすればよいか考えさせる。	●授業満足度アンケート	
食品流通科	食品に関わる職業人としての資質を身に付ける	総合実習を通して食品を扱う上での衛生感覚を養う 販売実習を通して礼儀、接客マナーを学ぶ 学習への意欲・目標を持たせ、食品に関する知識を習得させる。	●学校生活アンケート ●総合実習レポート	
	希望進路の実現	企業と連携し商品化を目指す。 企業見学などを行い、進路意識を高める。 総合実習を通して食品業界の職業観を養う。	●授業満足度アンケート ●課題研究レポート	
アクアライフ科	社会人・水産人としての資質を身に付けさせる。	挨拶・服装・言葉遣い・時間厳守の指導を徹底する。 命の大切さと安全に対する意識を身に付けさせる。 生物飼育、漁具製作などの体験活動を多く取り入れ、専門知識と技術を身に付けさせる。	●学校生活アンケート ●総合実習ノート	
	地域との連携	地域と連携した活動を多く取り入れる。(課題研究・漁業体験・竹林整備等) 地域資源(水産・農業・土地・風土 等)を生かし、地域を支える人材育成を目指す。 イベント等、地域貢献活動に積極的に参加する。	●未来を切り拓く人材育成事業アンケート	
事務室	予算の効率的な執行	効果的・効率的な予算執行に努める。 光熱水費の削減に努める。 雇りのない予算執行に努める。		
	生徒及び教職員の安全管理・環境整備の充実	不良・危険箇所に対し速やかに対応する。 校舎を巡回し、危険防止策を講じ、事故等を御前に防ぐ。 職員間での危険箇所等の情報共有を密に行う。		